



福島小学校だより

ふくしま

No. 2

令和2年5月12日

ホームページ <http://www9.wakayama-wky.ed.jp/fukushima/>

5月末まで臨時休業延長

季節が春から初夏へ移っています。急に気温が上がり日中は汗ばむ陽気となってきました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業が続いています。今日は短い時間ですが、子どもたちが元気に登校してきてくれました。

保護者の皆様には、長期にわたる臨時休業中の対応にご協力いただき誠にありがとうございます。臨時休業が5月末まで延長となってしまいました。子どもたちが、毎日の生活リズムを整えて学校からの課題にしっかり取り組み、学校再開に向けて生活していけますよう続けてご協力をよろしくお願いいたします。お気づきの点や不安なこと等ございましたら、いつでも学校へご相談ください。

校長 中村祐佳子

登校日の変更についてのお知らせ

市教育委員会より、登校日について「クラスを20人以下のグループに分け、感染症対策を徹底したうえで1時間程度の教育活動を計画するように。第五週の登校日は、複数回設定するように。」との指示連絡がありました。それを受けて、登校日の日程、登校班での登校の仕方、および時刻を次のように変更しますのでよろしくお願いいたします。前半、後半は4月15日（水）の登校日のグループと同じです。詳しくは後日一斉メールにてお知らせいたします。

5月19日（火） 登校班前半グループ 9:00登校 10:00下校

登校班後半グループ 11:00登校 12:00下校

なお、5月第五週の登校日については、回数、日程が決まり次第、登校の仕方、時刻等をメールにて連絡させていただきます。

型破りと形無し

さて、今回は私が大好きなことのひとつ、歌舞伎（かぶき）のお話です。400年以上の歴史がある歌舞伎は、日本を代表する伝統芸能です。毎年大型連休には、東京の歌舞伎座へ舞台を見に行くのですが、今年の連休は家で2010年の歌舞伎座公演のDVDを見ながら過ごしました。懐かしい往年の歌舞伎俳優さんたちの名演にうっとりしながら思い出したことです。

歌舞伎の世界には「型を持つ人が型を破るのが、型破り、型がないのに破れば単なる形なし」という言葉があります。「若いころには、古典歌舞伎をしっかりと学ぶことが大切で、未熟なうちに新しいことをやっては、形無しになってしまう」という代々の教えです。個性を生かして大きく飛躍するには、繰り返し学習し、基礎基本を身につけることの大切さを教えてくれています。勉強でも、スポーツでも、音楽でもすべてに当てはまることです。スポーツ選手の大きな飛躍の陰には、毎日の地道な努力があります。

基礎基本を身につける計算練習、漢字学習、視写、音読・・・時には味気なくつまらなく感じてしまうかもしれません。でも、基礎基本を身につけることは型を身につけることであり、そこから個性が育まれます。さらに、このことは、個性を生かす選択肢を増やすなど、飛躍のための大きな力になるのです。

今、学校は休業になっています。学校でみんなで話し合って考えを広め楽しく学び合うことができません。でもこの機会を飛躍のチャンスととらえ、基礎基本をしっかりと自分の身につけてほしいと思います。

福島農園が変身！

休業中に、福島農園が生まれ変わっています。

5月7日（木）前校長の辻本真吾先生が、広い農園を1時間かけてトラクターで耕してくださいました。土がふかふかになり、先生たちでうねを作り、サツマイモやニンジン、夏野菜などいろいろな苗を植えました。中庭の畑にも苗が植えられました。学校が再開されたら、みんなで観察に行きたいですね。それまでは先生たちが大切にお世話したいと思っています。

